

あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 75 2013年5月3回

生産者の取り組み

—放射能対策をしています—

株式会社ニッコー

国産原料にこだわり、美味しく安全な食品を食卓へ



自社で測定を毎日実施しており、下限値10Bq/kg で約2~3検体を検査しております。弊社は加工メーカーなので、基本的には加工後の商品を検査いたしますが、必要に応じて原料も検査するようにしております。地域にもよりますが、最近では放射能数値に対しての問い合わせ件数は減少傾向にあります。しかし、組合員様に安心してもらうよう、放射能検査は日々実施し、問い合わせが来たらすぐに対応出来るようにしております。

■自主検査結果 (ニッコー提供)

測定日	商品名	放射性 Cs134	放射性 Cs137
2013/5/2	中華丼の具(塩)	<11.1	<12.4
2013/5/10	エビカツフライ	<10.2	<11.7
2013/4/29	ひとくちソースとんかつ	<9.9	<11.4

測定方法: 高感度シンチレーターのランタンプロミドを用いたシングルチャンネル計数法

東日本大震災が発生して2年が経ちましたが、昨日のように感じます。復興は思うように進まず、放射能問題に関してもなかなか解決しそうもなく、長い戦いになりそうです。

弊社と致しましては放射能検査を継続し、安心かつ美味しいと笑顔が生まれる商品作りを行い、あいコープの組合員様の食生活の力になれたらと思います。厳しい状況が続いておりますが、少しでもお役に立てるよう頑張っております。

株式会社ニッコー
社長 山崎雅史さん

